

特 集

特集：語学教育・学習のためのアプリ／ソフトウェア

竹蓋 順子（大阪大学）

パソコンは一家に一台、と喧伝されたのは遠い昔の話ではなく、ほんの 10 年前のことだ。ところが今や、カバンの中を見れば、スマートフォン、タブレット端末、薄型ノート PC、MP3 プレーヤーなど、デジタル機器がいくつも入っている人は少数派ではなくなった。レストランで料理を待っている時、はたまた通りを歩いている時ですら、食い入るようにデバイスの画面に見入っている人も多い。スマートフォンやタブレット端末の語学アプリは、その使い勝手の良さ、すぐにダウンロードできる利便性、廉価な値段設定など、多くの要素が後押しし、魅力を感じさせるものが多数ある。しかし実際は玉石混淆であり、つまらないものに多くの貴重な時間を費やしてしまっは、有限な時間しか持たない我々にとって大きな痛手であろう。

こうした現状のなか、今回の特集では、自ら語学アプリやシステムを開発している研究者や、それらを授業で活用している教員の方々に、その実態報告や今後の展望などを論じていただく。外国語教育に関わる教員、そして外国語の習熟に励み日々研鑽されている皆さんにお読みいただければ幸甚である。

宍戸真氏の「自律学習・協働学習のための ICT」では、まず、コンピュータを活用した学習支援の歴史を振り返り、どのような発展を遂げてきたかを概観している。続いて、自律学習と協働学習の定義を明らかにした上で、それらに役立つものとして、筆者自身が開発や実証実験に参加した 4 種のコースウェアやツールについて具体的に解説している。本稿では、この 4 種以外のシステムについても触れられており、まさに「システムやデバイスを選択し、有益なツールやアプリを巧みに組み合わせて利用していく、教師の能力がますます問われる時代が来ている」（本文から引用）ことを痛感させられる。

次に、言語研究、教育の場で活用できる数々のアプリケーションを開発している今尾康裕氏による「Mac 用アプリ CasualTranscriber を使ったリスニング教材の準備から提示まで」では、メディアプレーヤーとテキストエディタが一体化した、音声、動画ファイルの文字起こしを補助するアプリケーションが紹介されている。外部リンクが許可された YouTube ビデオを開いて文字起こしをすることも可能といった特徴がある。アプリケーション自体や充実したマニュアルが Web サイトからダウンロードできるように整備されているので活

用されたい。

続いて、与那覇信恵氏・高橋秀夫氏の「スマートフォンによる英単語自習用教材の開発」は、スマートフォン及びパソコンで学習することが可能な英単語自習用教材の開発とその試用結果について報告している。この教材の特徴としては、有用性の高い 5,000 語の英単語を学習できる、高い効果を実証されている指導法に基づいている、学習者の習熟度レベルに応じて効率よく学習できる、という点が挙げられている。本教材のカリキュラムへの効果的な組み込み方に関する研究なども待たれる。

最後の樋口拓弥氏・山西博之氏の「教員向け授業支援 iPad/iPhone アプリ ”Yubiquitous Text” の開発」は、ファーストオーサーが、いわゆるデジタル・ネイティブ世代の研究者であり、その特有の視点、感性を持って開発されたアプリを紹介している。このアプリでは、音声ファイルとスクリプトを読みこませることで、テキストの任意の部分から音声を再生することができるほか、復唱練習やシャドーイングに適した再生モードもあり、自らが選んだ素材で自律学習することも可能となっている。開発理念としては、徹底した低コスト、高い汎用性、使用者目線での開発、が挙げられており、これらが忠実に守られながら開発が進められていることが本文から読み取れる。Yubiquitous Text も無料で公開され、ダウンロードできるようになっているので、ぜひ試していただきたい。

・自律学習・協働学習のための ICT	----- 宍戸 真	5
・Mac 用アプリ CasualTranscriber を使ったリスニング 教材の準備から提示まで	----- 今尾 康裕	11
・スマートフォンによる英単語自習用教材の開発	----- 与那覇 信恵・高橋 秀夫	17
・教員向け授業支援 iPad/iPhone アプリ ”Yubiquitous Text” の開発	---- 樋口 拓弥・山西 博之	23